

高津川試験地種苗生産試験

鈴 本 博 也

1. 目 的

前年度と同じ

2. 生産と配付

方法は前年度と同じであったが、今年度は、特に流水養鯉用の二才魚種苗を重点的に生産した。

当才魚生産は、元池 (500m², 8面) に 5月30日と31日に 鶏糞を各々15袋施肥し、前年度より1ヶ月遅い、6月15日と6月21日に産卵を実施した(水温10時で23℃)。元池にはミジンコにまじって、カイミジンコが少し繁殖したが、毛仔に対する悪影響はなく、経過は良好

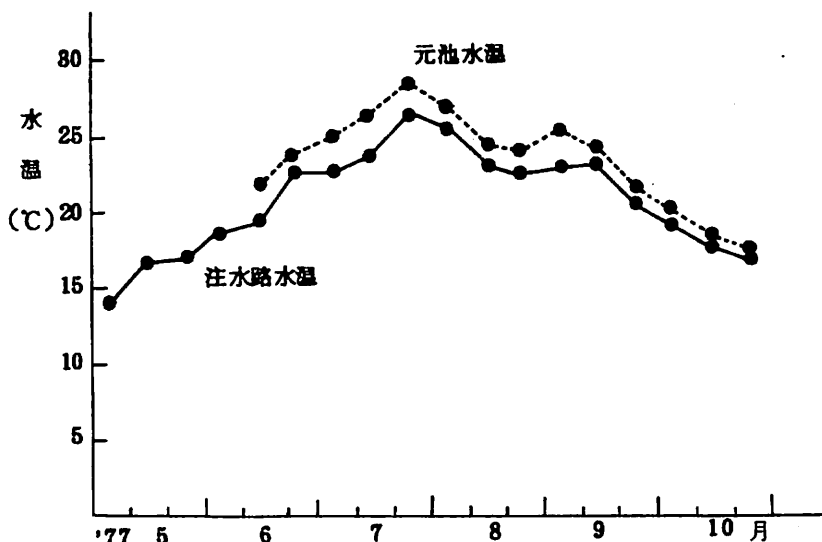


図1 旬別平均水温(午前10時)

で、分養により種苗の大型化を計った。旬別平均水温は図1にしめた。

食用魚は粗蛋白質39%以上の配合飼料とサナギを主体に生産し、飼料効率の向上につとめた。なお、当才魚は大半を放流用に、二才魚は全てを流水池用の種苗として配付した。食用魚は三刀屋分場を通じて配付した。配付結果は表1にしめた。

表1 配 付

当 才 魚	二 才 魚	食 用 魚
35,188尾	3,800kg	750kg

但し、真鯉

また、今年度は6月が日照不足と低温、7月下旬が高温少雨、8月が冷夏、10月と11月が長期秋晴れと高温、翌年3月には戻り寒波があるなど、気候の変化が激し

く、これらの影響と種苗の過密放養、養魚池への注水不足などのためか、魚病が多発した。魚病対策は表2の通り実施し、被害を防止した。

表2 魚病と対策

種別	診断年月日	病名	対策
当才魚	52. 7. 7	キロドネラ寄生虫	ホルマリン20 ppm浴, ダイメトン経口投与と分養
当才魚	52. 8. 24	トリコデイナ, 吸虫寄生症とえらぐされ病	ダイメトン経口投与
当才魚	52. 9. 5	えらぐされ病	ダイメトン経口投与
当才魚	52. 9. 12	吸虫寄生症とえらぐされ病	トリクロルホン, ダイメトン経口投与
当才魚 二才魚 親魚	52. 12. 6	トリコデイナ寄生症	ホルマリン20 ppm浴 2回
食用魚	52. 12. 20	トリコデイナ寄生症	ホルマリン20 ppm浴
当才魚 二才魚	53. 2. 13	くちくされ, えらくされ, わたかぶり病	流水, マラカイド0.3 ppm浴2回, 3月下旬フラン剤経口投与

3. その他

今年度は、養魚池、水路、管理道路のコンクリートなどによる補修工事を5ヶ所、養魚池の仕切金網取替工事2ヶ所、場内西側境界の杉並木の剪定も実施し、管理に万全を期した。また、大型魚採捕用の引網1統（前年度海洋科作製）、小型魚採捕用引網1統、大型著養網、すくい網類の網仕立てを実施し、作業効率の向上を計った。